



乾燥式家庭用 生ごみ処理機

cleantasls

クリンタシス

CCM-600JP

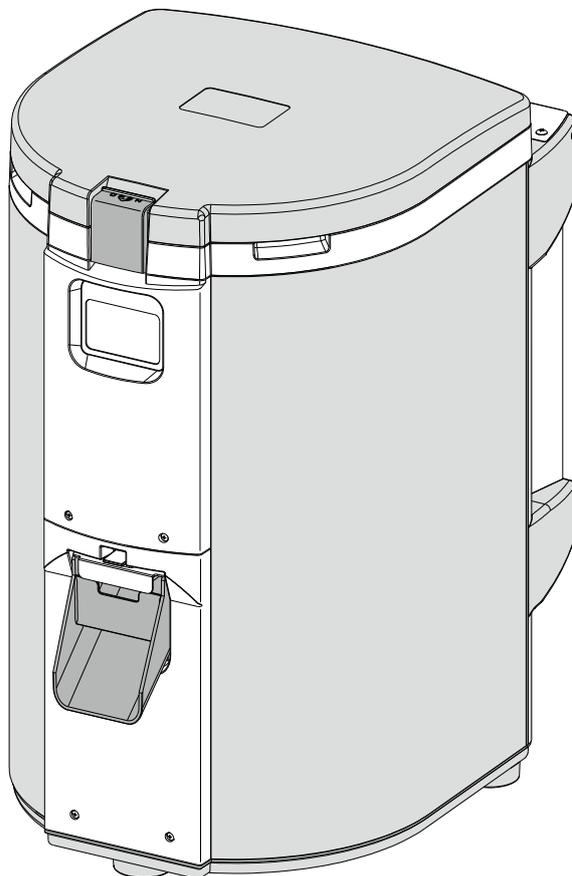
取扱説明書

この度は、生ごみ処理機をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。

お読みになった後、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。



もくじ

ページ

ご使用の前に

安全上のご注意	1～2
各部の名前	3～4
設置の仕方	5
ご使用前の準備	6
使用上のご注意	7

ご使用の前に

使い方

投入できるもの・できないもの	8
使い方(生ごみの投入)	9
使い方(乾燥ごみの取り出し)	10
お手入れ	11
乾燥ごみの利用	12

使い方

こんなときは

故障かなと思ったら	13
仕様	14
保証とアフターサービス	14
別売部品	裏表紙
保証書	裏表紙

こんなときは

安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱をすると生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危害・損害の程度とその表示



警告

使用者などが死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

使用者などが傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告も含む）を促す内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）を示しています。



⊘記号は禁止の行為を促す内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）を示しています。



⓪記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。図の近くに具体的な注意内容（左図の場合は一般的な強制）を示しています。

警告



アースを確実に取り付けてください。
故障や漏電の時に感電する恐れがあります。
アースの取付は販売店にご相談ください。



技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で取扱わないでください。
感電やけがをすることがあります。



雨水がたまり水浸しになるような場所には設置しないでください。
ショート、感電の恐れがあります。



定格15A以上のコンセント(防雨型)を単独で使ってください。
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



本体の上に乗ったり、腰掛けたりしないでください。
転倒したり、故障の原因になります。



蓋を開けたとき、本体の上部に磁気のあるものを近づけないでください。
カッターが回転してけがをすることがあります。



本体各部に直接水をかけないでください。また本体内部の水洗いはしないでください。
ショート、感電の恐れがあります。

警告



幼児に処理槽の中をのぞかせない。
また生ごみ処理機の近くに台を置かないでください。
落ちてけがをする恐れがあります。



マンションなどのベランダに本体を設置する際は、手すり側に置かないでください。
お子様が踏み台などにして転落する原因になります。

注意



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
感電やショートして発火することがあります。



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。
また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



長時間ご使用にならないときは、乾燥ごみを取り出して、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。



電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しないでください。
感電・ショート・発火の原因になります。



乾燥ごみに触れるときは、皮膚に直接触れないように手袋を使用してください。また乾燥ごみに直接触れた場合には必ず水で洗ってください。
処理された生ごみは土や堆肥と同じです。衛生上好ましくありません。



使用中、使用直後は内部が熱いので触らないでください。
やけどの恐れがあります。



カッターは鋭利ですので直接手を触れないでください。
けがの原因となります。



交流100V以外では使用しないでください。
火災の原因となります。



火気の近くに設置しないでください。また火のついた煙草などを投入しないでください。
本体の変形によるショート・発火の原因となります。



運転中はベンジン、シンナー、ガソリンなどの引火物を近づけないでください。
火災の原因となります。



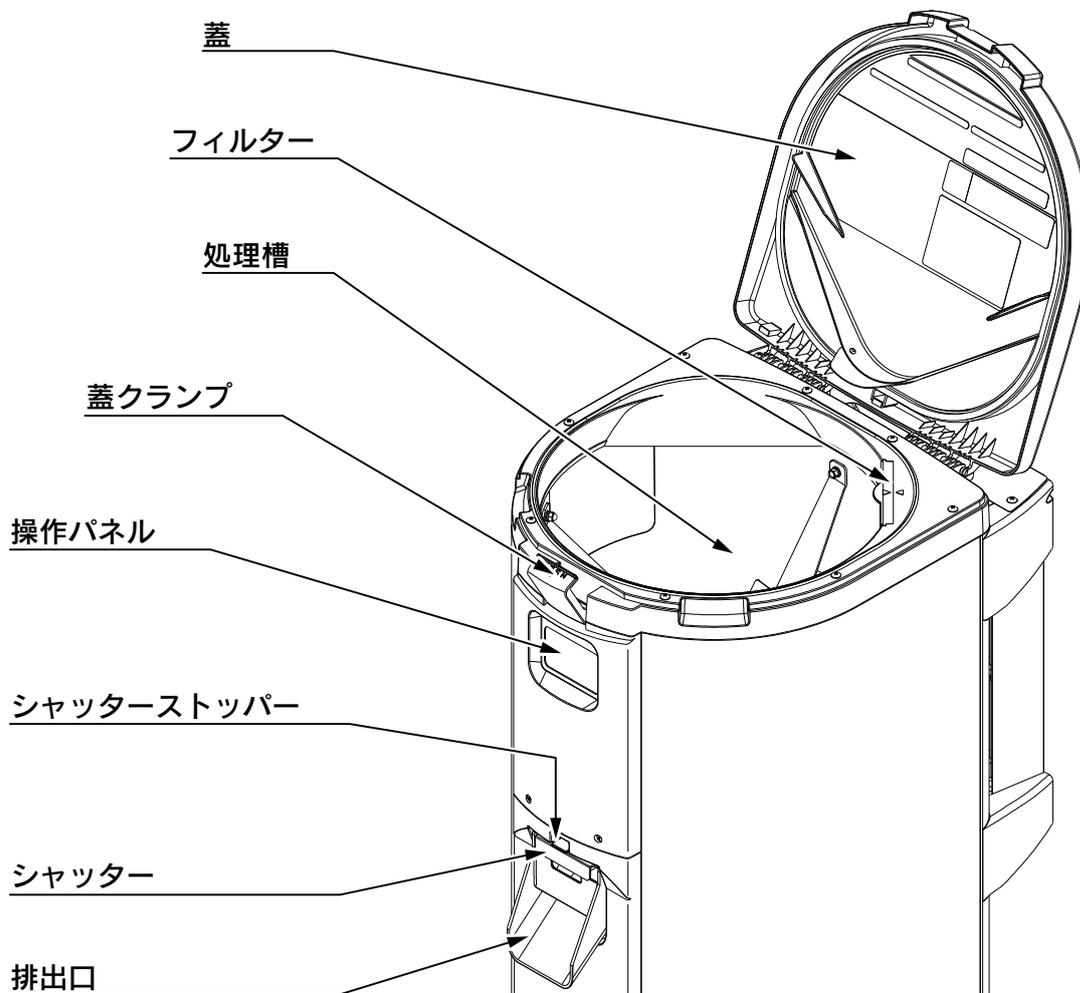
蓋は確実にロックしてください。
臭気が漏れる原因となります。



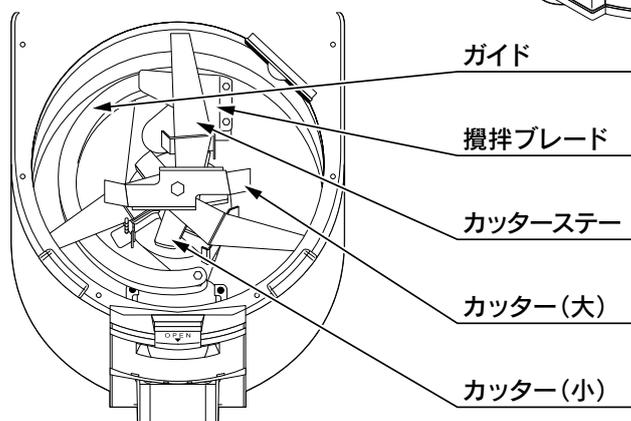
本体凝縮器より出る結露水是溜め受けしないでください。
悪臭の原因となります。

各部の名前

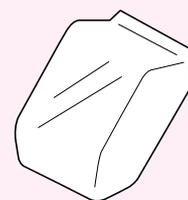
正面側



処理槽詳細



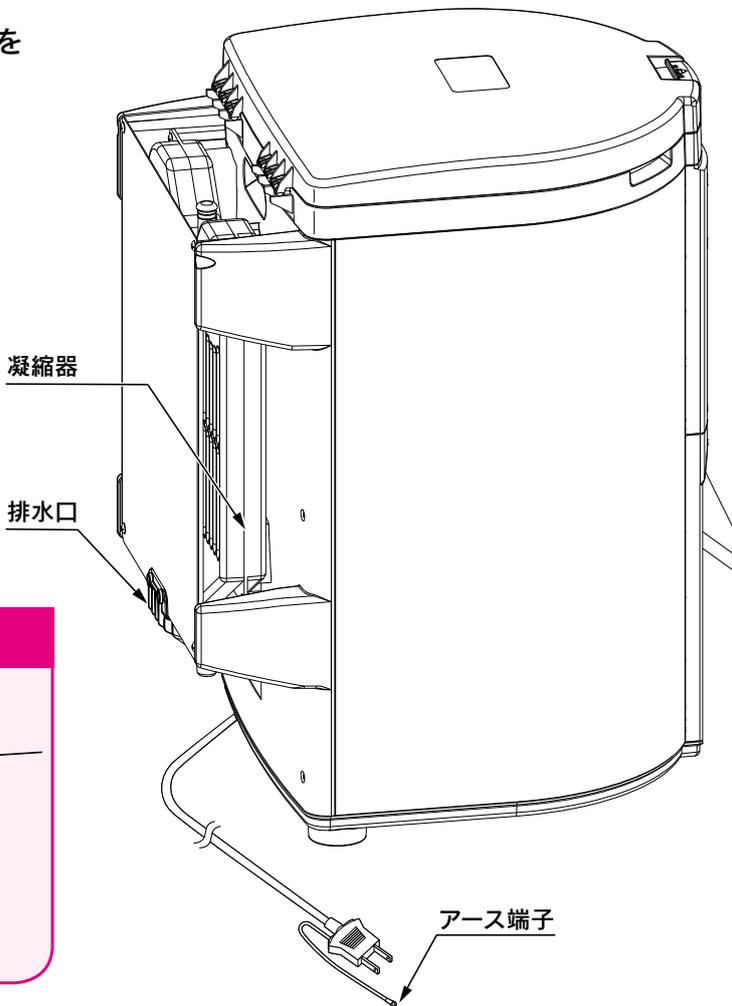
付属品



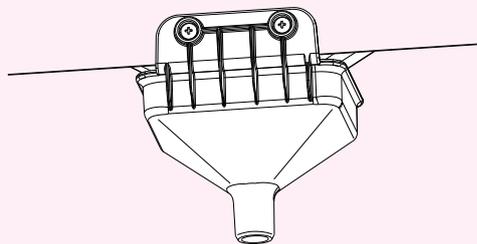
チップ

裏面側

※ 機能説明の為、凝縮器カバーを外しています



排水口詳細図



操作パネル詳細

運転中表示ランプ(赤)

- 点灯：通常及び少量モード運転中
 - 点滅：運転中のカッターロック検出及び本体不具合発生
 - 蓋を開けるとブザーが鳴ります。
 - ・カッターロック検出ブザー音：ピー・ピー・ピー…※断続音
 - ・本体不具合発生時ブザー音：ビ————※連続音(5秒間)
- (13ページを参照ください)

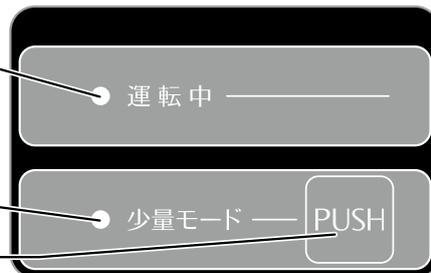
少量モード表示ランプ(緑)

- 点灯：少量モード切替選択中
- 点滅：凍結防止モード切替選択中

モード切替スイッチ(少量モード及び凍結防止モード)

ごみの処理量及び凍結が予想される場合に、運転のモードを切り替えて使用します。

- モード切替が可能な状態で運転モード切替スイッチを短く押すたびに、通常⇄少量が切り替わります。
- モード切替が可能な状態で運転モード切替スイッチを3秒以上長押しにて通常、少量⇄凍結防止が切り替わります。(モード切替可能な状態の詳細は9ページを参照ください)



設置の仕方

(屋外設置型のため室内には設置しないでください)

設置場所

- ◆ 直射日光のあたらない場所。
- ◆ 屋外の水平で安定した場所。
- ◆ 雨水がたまり水浸しにならない場所。
- ◆ 床面の強度のある場所。
- ◆ 石油類やプロパンガスなどの引火しやすいものから離れた場所。

警告

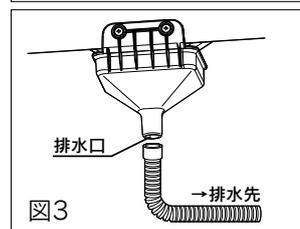
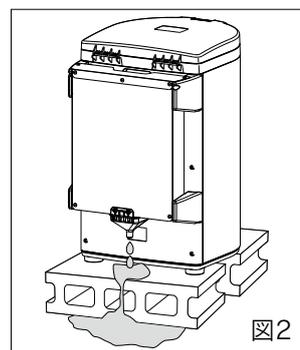
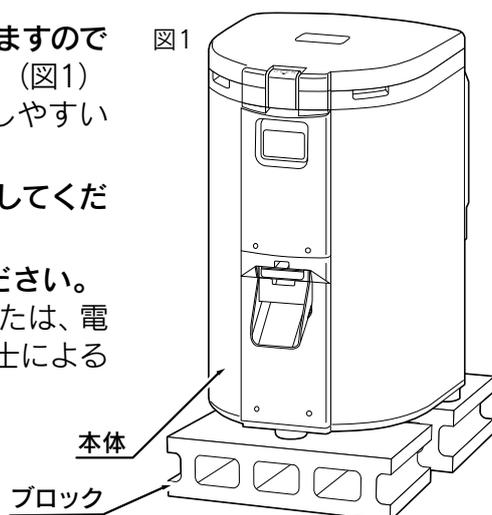
マンションなどのベランダに本体を設置する際は、手すり側に置かないでください。

お子様が踏み台などにして転落する原因になります。

設置の仕方

- ◆ 土や、芝の上に設置する場合には、転倒する恐れがありますので直接置かないで市販のブロックなどを敷いてください。(図1)
○ダンボール、発泡スチロールなど、水や熱で変形しやすいものの上には設置しないでください。
- ◆ 本体ががたつかず、安定して水平になる場所に設置してください。
- ◆ 屋外の防雨コンセント(アース端子付)を使用してください。
○アース端子がない場合には、お買い上げの販売店または、電気工事店にご依頼ください。法令により、電気工事士によるD種接地工事が必要です。
- ◆ 強い風が吹き付ける所に設置する場合や、倒れる恐れがある場合は、市販のバンドなどを利用して固定してください。
- ◆ 本体凝縮器部の排水口より結露水が出ます。(約700cc/日(通常運転時で1kgの生ごみを処理した場合))
結露水が垂れても差し支えない場所に設置してください。また、結露水を溜めておきますと悪臭の原因となりますので、容器などに溜め受けしないでください。(図2)
○本体凝縮部の排水口から出る結露水をホースで排水する場合には、市販されているエアコン用のドレンホース(適量の長さ)をお買い求めいただき、本体凝縮部の排水口に差し込み、排水してください。(図3)
○ホースは登り勾配にならないよう設置してください。

図1



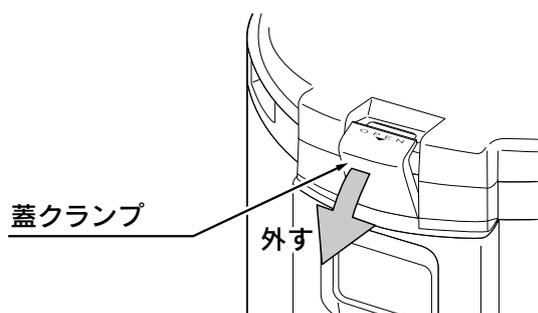
注意

冬期時、凍結が予想される地域では、ホースによる排水はできません。ホース内が凍結し乾燥不良の原因となります。

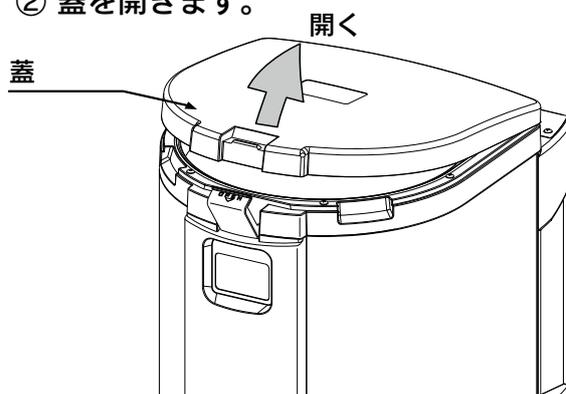
ご使用前の準備

1 蓋を開ける

① 蓋クランプを外します。



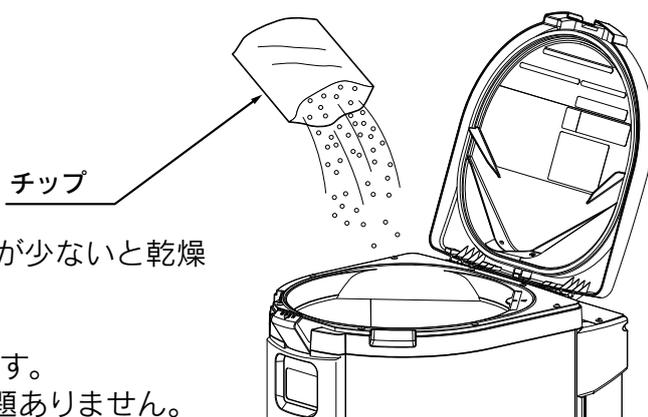
② 蓋を開きます。



2 付属のチップを入れる

① チップの袋を開封します。

② チップを全量投入します。



※チップを投入しないもしくは投入量が少ないと乾燥不良の原因となります。

必ず全量投入してください。

※チップの材質はセルローズ（繊維）です。

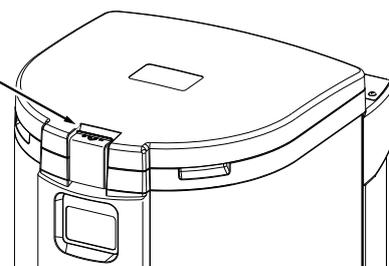
可燃ごみや堆肥として利用しても問題ありません。

3 蓋を閉じる

① 蓋を閉じます。

② 蓋クランプで蓋をロックします。

蓋クランプ



⚠ 注意

蓋は確実にロックしてください。臭気が漏れる原因となります。

使用上のご注意

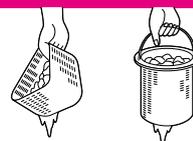
分別して入れる

- ごみの中には投入できるものと、投入できないものがありますので、あらかじめ分別してください。
(8ページを参照してください)



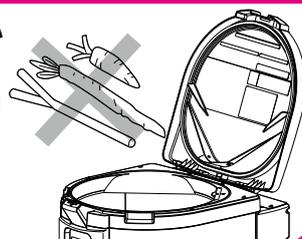
しっかり水切りする

- 生ごみを投入するときは、しっかりと水切りをしてください。
(水切りが不十分だと、処理槽のごみがベタ付いて臭いが強くなります)



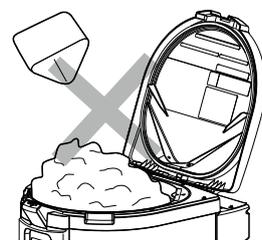
大きいものや長いものは小さくする

- かぼちゃ、トウモロコシの芯などの大きな生ごみや、ねぎなどの長い繊維質の生ごみは5cm以下に小さくしてから投入してください。
(カッターがロックしたり、からまつたりしてごみが粉碎できなくなります)
- ごはんやめん類などはよくほぐしてから投入してください。
(乾燥ごみの乾燥不良や、臭いが強くなります)



入れすぎない (乾燥不良や悪臭の原因となります)

- 1日に投入できる生ごみの量は通常モードで約1kg以下です。
(三角コーナー1杯半程度が目安です)
- 少量モードの場合、300g/日投入する事が可能です。
- でんぷん質、魚、肉などかたよった生ごみを続けて投入しないでください。
(臭いが強くなります)
- 処理槽のごみにベタつきがある場合には、処理中のごみが乾燥するまで生ごみの投入を中止してください。



結露水に注意

- 運転途中に蓋を開けますと蓋内側に結露水がついており、こぼれ落ちる場合があります。
蓋を開ける際には十分に気をつけてください。
- 本商品は節電のためタイマーにより自動的に乾燥用のヒーターが切れる構造となっております。このため冬期時、凍結が予想される地域では、内蓋が凍結し蓋が開けにくくなる場合があります。凍結が予想される季節は凍結防止モードでご使用ください。

乾燥ごみ取り出しの目安

- 処理槽内側に記載されているごみ捨てラインに乾燥ごみが近づいたら取り出しを行ってください。ごみ捨てラインを越えて投入し続けるとカッターがロックし、故障の原因となります。

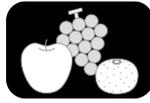


投入できるもの・できないもの

投入できるもの



野菜くず



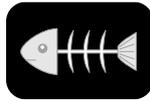
果物



菓子類



卵の殻

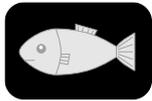


魚の骨



穀物
茶かす

処理は可能ですが注意が必要なもの



魚の身



肉類



でん
ぷん質



水分の多い
果物・野菜

連続して投入すると臭いが強くなります。



鳥の骨



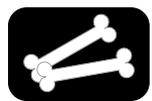
大きな
甲殻類の殻



貝殻
(あさり程度)

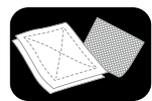
連続して投入すると処理槽やカッターを傷つけます。

投入できないもの (人が食べられないもの)



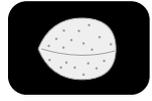
骨類

牛・豚などの大きな骨



布類

雑巾・水きりネットなど



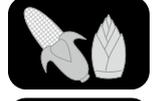
硬い種

桃・梅干しなど



プラスチック・ビニール類

発泡トレイ・ラップなど



強い繊維質の生ごみ

とうもろこし・竹の子の皮など



木・竹類

はし・竹くしなど



硬くて大きな貝殻

サザエ・ホタテなど



生花

生け花・植木など



金属類

スプーン・ナイフ・フォークなど



液体

油・スープ・カレー・アルコールなど



陶器・磁器・ガラス類

茶碗・コップなど



悪臭の原因となるごみ類

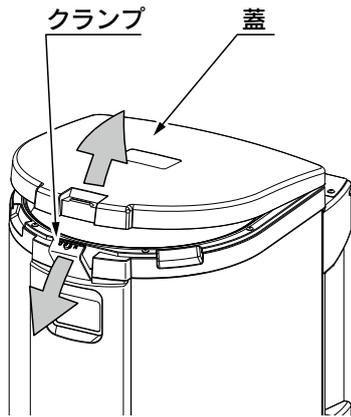
ペットのフンや腐敗した生ごみなど

使い方 (生ごみの投入)

1日1回の投入が目安です！

1 蓋を開ける

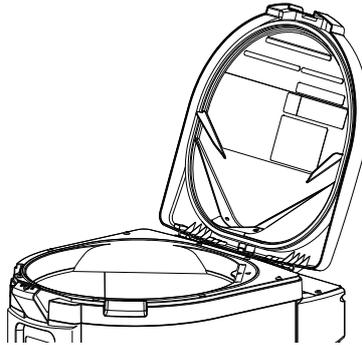
- ①蓋クランプを外します。
- ②蓋を開きます。



蓋を開けると攪拌運転を停止します。

2 生ごみを投入する

しっかり水切りをした生ごみを投入します。

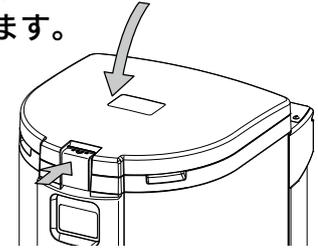


注意

使用上のご注意(7ページ)投入できるもの・できないもの(8ページ)をお守りください。

3 蓋を閉じる

- ①蓋を閉じます。運転中ランプ(赤)が点灯し攪拌運転を開始します。
- ②蓋をクランプでロックします。



注意

蓋はクランプで確実にロックしてください。ロックが不十分だと、臭気が漏れる恐れがあります。

通常運転・少量モード・凍結防止モード (モード切替)

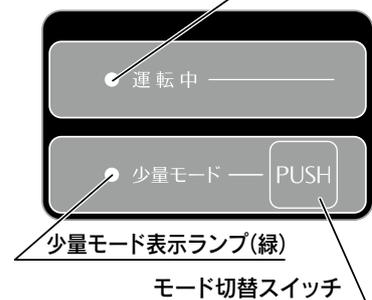
●モード切替スイッチ(少量モード及び凍結防止モード)

ごみの処理量及び凍結が予想される場合に応じ、運転のモードを切り替えて使用します。(凍結防止モードについては11ページをご覧ください)

●本体が次の状態の時、モード切り替えを行えます。

- ・蓋を開けた状態
 - ・蓋を閉じた状態で運転中表示ランプ(赤)が消灯しているとき
- モード切り替え可能な状態でモード切替スイッチを短く押すたびに、通常⇄少量が切り替わります。(少量モード選択時は、少量モード表示ランプ(緑)が点灯します。)
- モード切り替え可能な状態でモード切替スイッチを3秒以上長押しすると通常、少量⇄凍結防止が切り替わります。(凍結防止モード選択時は、少量モード表示ランプ(緑)が点滅します。)
- ※凍結防止モードを解除すると通常運転モードになりますので、少量モードを選択する際には改めてモード切替スイッチを短く押して切り替えてください。

運転中表示ランプ(赤)



モード切替スイッチ

●通常運転(生ごみの投入が1kg以下の標準的な使用方法)

蓋の開閉で運転表示ランプ(赤)が点灯し、20時間の通常運転が開始します。(蓋を開けると通常運転は停止し、再度蓋を閉めた時点から20時間の通常運転を再開します。)

●少量モードの使い方

- 1日のごみ処理量が少量(300g以下)の場合に使用します。
- 蓋の開閉で運転表示ランプ(赤)が点灯し、8時間の少量モード運転が開始します。(蓋を開けると少量モード運転は停止し、再度蓋を閉めた時点から8時間の少量モード運転を再開します。)

使い方 (乾燥ごみの取り出し)

処理槽内側に記載されているごみ捨てラインに乾燥ごみが近づいたら取り出しを行ってください。

1 ごみの量を確認する

処理槽内側に貼り付けられているシールのごみ捨てラインに乾燥ごみが近づいたらごみの取り出しを行ってください。



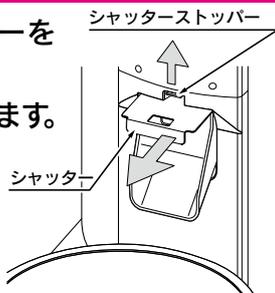
2 回収用の容器を用意する

乾燥ごみを回収する容器（ポリバケツなど）を用意し、排出口下部に置きます。



3 排出口のシャッターを開く

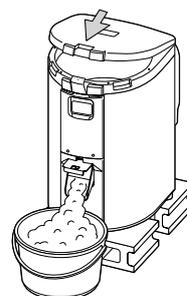
- ①シャッターストッパーを押し上げます。
- ②シャッターを引き出します。



シャッターが止まるまで引き出してください。

4 蓋を開閉する

蓋を開閉して、運転を行い、乾燥ごみを排出します。



5 乾燥ごみを回収する

乾燥ごみがベタついている場合は、ごみの取り出しができません。再度、ごみを乾燥させてから取り出ししてください。

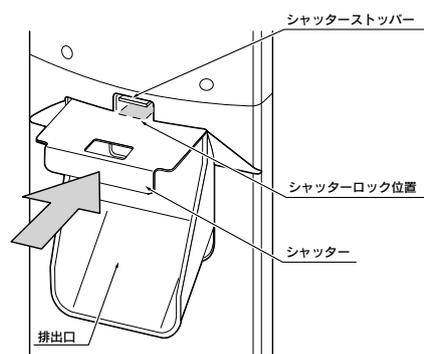
蓋を開けると運転は止まり、乾燥ごみの排出も止まります。1回の運転で乾燥ごみが排出されない場合には、繰返し蓋を開閉して運転を行い、乾燥ごみを排出してください。

※この時、排出口部に乾燥ごみが付着する場合があります。運転を停止させた後、不要になった歯ブラシなどで取り除いてください。また、乾燥ごみ回収後は、シャッターを奥まで押し込み、シャッターストッパーで確実にロックされている事を確認してください。

ロックが確実にされていないと、乾燥ごみがこぼれ出ます。

シャッターを閉めた後、新しいチップを投入するか、取り出した乾燥ごみの粗い部分を約1/3投入（底から約6cm）し、次のごみ処理のチップの代用とします。

※乾燥ごみを繰り返し使用するとフィルター目詰まりの原因となります。処理槽のほこりが多いと感じたら乾燥ごみを全量取り出し新しいチップを投入してください。



警告



運転中は排出口の中にヘラや長い棒などを入れないでください。けがをする恐れがあります。

凍結防止モードについて

本装置は、生ごみから発生する水蒸気を結露凝縮させることで乾燥処理する生ごみ処理機です。乾燥運転中は処理槽内や蓋の内側には水滴が付着します。凍結が予想される季節に使用した場合には、乾燥運転後に処理槽内の温度が下がることで処理槽内の乾燥ごみが凍結してカッターがロックしたり、蓋が凍結して開かなくなったりする恐れがあります。

凍結が予想される季節にご使用される場合には、運転モードを凍結防止モードに切替えてご使用ください。凍結防止モードは20時間の乾燥運転後、処理槽内のヒーターを4時間運転させ、乾燥ごみや蓋の凍結を防いでトラブルを防止します。

※凍結防止モードは、季節に応じて切替えてご使用ください。

お手入れ

警告



処理槽内部に手を入れるときは電源プラグをコンセントから抜き1時間以上経過してから行ってください。また、ぬれた手で抜き差ししないでください。やけどや、けがをする恐れがあります。

処理槽内部の点検清掃

●蓋の裏側

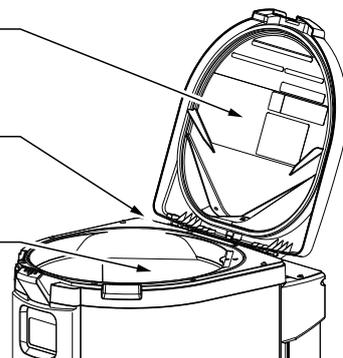
結露水や、攪拌中に飛び跳ねた乾燥ごみで汚れている場合にはティッシュペーパーや、乾いた柔らかい布で清掃してください。

●処理槽上面

結露水、こぼれた生ごみや、乾燥ごみのほこりで汚れている場合には乾いた柔らかい布や、不要になった歯ブラシなどで清掃してください。

●処理槽

処理槽の壁に乾燥ごみがこびりついている場合には、プラスチックのヘラや不要になった歯ブラシなどで清掃してください。金属のスコップやヘラなどを使用すると、処理槽に傷が付きますので使用しないでください。



警告



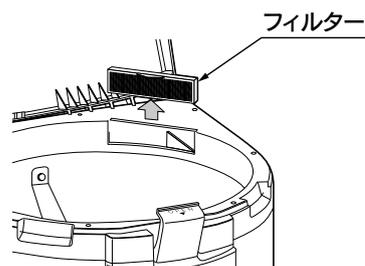
水洗いは絶対にしないでください。ショート・感電の恐れがあります。

フィルターの点検清掃 本体の汚れは、水または中性洗剤を含ませた柔らかい布で清掃してください。

フィルターが乾燥ごみのほこりで目詰りしますと、乾燥不良や、悪臭の原因となります。

生ごみ投入前に必ずフィルターが目詰まりしていないか確認してください。フィルターにほこりが付着している場合には、不要になった歯ブラシなどで清掃するか、ほこりの付着がひどい場合にはフィルターを取り外して水洗いしてください。

水洗い後は水分をしっかりとふき取ってから、本体にセットしてください。ほこりの付着がひどい場合には、乾燥ごみを全量取り出して新しいチップと交換してください。



乾燥ごみの利用

有機肥料の素材として再利用する場合

①プランターや、植木鉢などに、取り出した乾燥ごみを
1、土を2～3の割合で混ぜ合わせます。

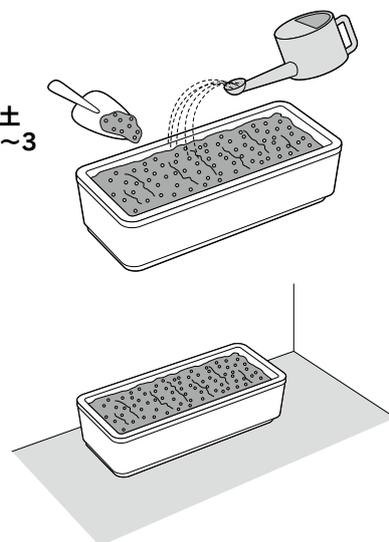
②湿る程度の水を加え、よくかき混ぜます。

③雨水のかからない日陰で、風通しのよい場所に1～2ヶ月保管し熟成させます。

保管中は時々水を加えてよく土を混ぜ合わせてください。

- 生ごみが完全に分解（原形が認められない）しており、黒褐色で土においがしていれば完熟状態です。有機肥料の素材として園芸用にご利用ください。
- 生ごみの分解過程で白カビが発生したり匂いがする場合があります。その際は上から土をかぶせ、しばらく水は控えてください。白カビは有機質を分解する働きがありますので土に混ぜ込んでも問題ありません。
- 有機肥料の素材として利用しない場合は、可燃ごみとして処分してください。

乾燥ごみ : 土
1 : 2~3

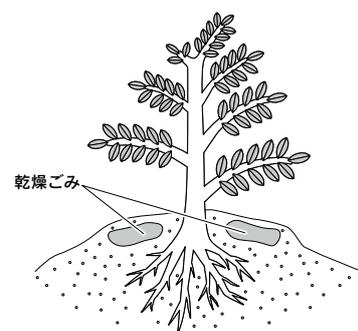


そのまま使用する場合

①植物の根周辺を避けて埋めます。

②土とよく混ぜて、その上からさらに土を覆いかぶせます。

③通常どおり水をやります。



⚠ 注意

この有機肥料の素材は、本体に投入された生ごみの種類や、さまざまな要因により、成分や性能が一定しません。

肥料成分に敏感な管理が必要な植物には使用しないでください。

有機肥料の素材に適さない異物が混入したり、誤った方法で使用すると、弊害が出る場合がありますので、ご注意ください。

なお、弊害に関する一切の責任は負いかねます。ご了承ください。

故障かなと思ったら

使用中に普段とは違う状態になった時や、不具合が生じた時は修理を依頼する前に次の点をもう一度お調べください。

警告



処理槽内部に手を入れるときは電源プラグをコンセントから抜き1時間以上経過してから行ってください。また、ぬれた手で抜き差ししないでください。
やけどや、けがをする恐れがあります。

症 状	調べるところ	直 し 方
蓋を閉めても攪拌運転しない。	電源プラグはきちんと差し込まれていますか？	電源プラグをしっかり差し込んでください。
蓋を開けるとブザーが鳴る。 ブザー音:ピーピーピー (断続音) 赤い運転表示ランプは点滅。 ※電源プラグをコンセントから抜き、ブザーをリセットしないとごみ処理機は運転できません。	硬くて大きなごみを投入していませんか？ 乾燥ごみがごみ捨てラインに近づいていませんか？	処理槽内のカッターがロックしております。電源プラグを抜いてから、ロックの原因となっているものを処理槽内から取り除いてください。 ごみ捨てラインに近づいたら、電源プラグを一度抜き差しして、乾燥ごみの取り出しを行ってください。 (10ページを参照してください)
蓋を開けるとブザーが鳴る。 ブザー音:ピー———— (連続音5秒間) 赤い運転表示ランプは点滅。	—————	本体の不具合が発生し、修理が必要です。ご使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いて、ご購入先にご連絡ください。
蓋を開けると臭いが強い。	生ごみの投入量はお守りですか？	生ごみの投入量をお守りください。 (7ページを参照してください)
	乾燥ごみがごみ捨てラインに近づいていませんか？	ごみ捨てラインに近づいたら、乾燥ごみの取り出しを行ってください。 (10ページを参照してください)
	フィルターが目詰まりしていませんか？	フィルターの清掃を行ってください。 (11ページを参照してください)
臭いがする。	結露水を容器などに溜め受けていませんか？	結露水は溜めずに処理をしてください。
完全に乾燥されていない。	生ごみの種類がかたよっていませんか？ (でんぷん類、果物類など)	他の生ごみと一緒に処理してください。 (7ページを参照してください)
	生ごみの投入量はお守りですか？	1日の処理量 通常:1kg以内 少量:300g以内 (7ページを参照してください)
	フィルターが目詰まりしていませんか？	フィルターの清掃を行ってください。 (11ページを参照してください)
生ごみが粉碎されずに残っている。	乾燥ごみがごみ捨てラインに近づいていませんか？	ごみ捨てラインに近づいたら、乾燥ごみの取り出しを行ってください。 (10ページを参照してください)
	硬くて大きなごみを投入していませんか？	処理槽内のカッターがロックしております。電源プラグを抜いてから、ロックの原因となっているものを処理槽内から取り除いてください。
蓋が開かない	蓋が凍結していませんか？	蓋を静かに引き上げてください。

●本装置は臭気を結露水に変える機構となっている為、凝縮器部より出てくる結露水には若干の臭いがついておりますので、予めご了承ください。

仕様

- 型式 : CCM-600JP
- 定格電圧 : AC100V 50-60Hz
- 定格消費電力 : 220W
- 外形寸法 : 約 W=370 H=630 D=500mm
- 重量 : 約17kg
- 処理能力 : 通常 : 1kg以内/1日 少量モード : 300g以内/1日
- 設置場所 : 屋外 (日光・雨に直接さらされない、風通しの良い場所)
- 設置環境 : 一般・寒冷地 (-10℃以下にならないこと)
- 付属品 : チップ (1袋)

保証とアフターサービス

保証書 (裏表紙)

- この商品には保証書を添付しております。(本書裏表紙)
- お買上げの際に保証書の「お買上げ日・販売店」の記入をご確認の上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間はお買上げの日から1年です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 保証期間中の修理などでご相談ならびにご不明な点は、ご購入先までお問合せください。

修理を依頼されるときは

13ページに従って調べていただき、なお異常がある場合には、ご使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いて、ご購入先にご連絡下さい。

保証期間中

この商品の保証期間は、お買上げの日から1年間です。ご購入先にご相談ください。保証書の記載内容に従って修理いたします。
(なお、保証期間中でも有料になる場合が有りますので、保証書をよくお読みください)
※チップは消耗品です。保証の対象となりません。

保証期間が過ぎているとき

まずご購入先にご相談ください。修理により、製品機能が維持できる場合には、ご要望に従い有料にて修理いたします。

愛情点検



愛情点検
長期ご使用の場合
は点検をぜひ!

このような症状はありませんか。

- こげくさい臭いがする。
- 電源コード、プラグが非常に熱い。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- その他の異常、故障がある。

ご使用中

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずご購入先に点検・修理をご相談ください。

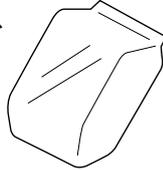
こんなときは

別売部品

チップ

- チップを交換される場合には、当社指定のチップをご使用ください。

乾燥不良の原因となります。



チップのお求めは、ご購入先にご連絡ください。

生ごみ処理機 保証書

本書は本記載内容（無料修理規定に基づく）で無償修理を行う事を保証するものです。
保証期間中に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店もしくは当社フリーダイヤルまでご連絡ください。

品名	乾燥式家庭用生ごみ処理機（屋外設置型）		型式	CCM-600JP
製造番号		保証期間	お買い上げ日より1年間	
※ お買い上げ日 年 月 日				
お客様	ご住所 〒()			
	ご署名		電話 ()	
※販売店	(ご販売店様へ※印欄は必ずご記入してお渡しく下さい。)			

《無料修理規定》

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状況で故障した場合には、当社が無料修理します。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店もしくは当社フリーダイヤルまでご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、転倒等による故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、雪害、その他の天災地変や異常電圧による故障及び損傷。
 - (ニ) 一般家庭以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載等）に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ホ) 本書の提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入の無い場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (ト) 消耗部品（チップ）の交換。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保障責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理、修理用性能部品の保有期間について、詳しくは当社フリーダイヤルへお問い合わせください。

商品に対する
お問い合わせ
修理のご用命は

サイコー ごみゼロ
☎0120-315-530へ

お問い合わせ対応時間……平日9:00～17:00
土・日・弊社休日、上記時間外…受付のみ対応

 株式会社 ちくま精機

〒399-7102 長野県安曇野市明科中川手3306
ライフケア事業部 TEL(0263)62-2372 FAX(0263)88-2411